



ほむら 秀群

【スローガン】

つなぐ

&つながる

鹿嶋市立鹿島秀群学園鹿島中学校

鹿嶋市宮中2398番地1

TEL 82-1455 FAX 83-7768

Eメール：630501@sch.ibk.ed.jp

【学校教育目標】 心身ともに健康で、主体的に学び、社会に貢献できる生徒の育成【対話・共生】
～対話を通して、お互いの違いを理解し、認め合う～

令和8年を迎えて～本年もよろしくお願ひします～

令和8年の幕開けから、早いもので1か月が過ぎようとしています。生徒たちは、新年の抱負を胸に、進級や進学といった次なるステップに向けて、日々の学習や活動に集中して取り組んでいます。今年度も残り2か月となりました。一日一日が充実した学校生活となるように、教職員一同、支援してまいります。本年も、保護者・地域の皆様の温かいご支援とご協力ををお願いいたします。

届け、手作りのぬくもり～3年生 幼稚園実習レポート～

3年生が12月に家庭科の授業の一環で幼稚園実習に赴きました。この日のために、家庭科の授業で「園児の発達に応じた、安全なおもちゃ」を制作しました。楽しく遊べるように試行錯誤した自作のおもちゃを手に、少し緊張した面持ちで訪問させていたいた生徒たちでしたが、園児の皆さんとの笑顔に触れると、自然と優しいお兄さん・お姉さんの表情に変わっていきました。園児の皆さんと一緒に遊ぶ姿からは、相手を思いやる心や、中学生としての頼もしさを感じられました。温かく迎え入れてくださった幼稚園の皆さん、ありがとうございました。



地域を駆ける！部活動・教職員チーム～鹿嶋市駅伝大会～

1月17日（日）開催の鹿嶋市駅伝大会に、本校から部活動主体のチームや教職員チームなど、計7チームが参加しました。「走ることで地域を盛り上げたい」という想いを胸に、選手たちはそれぞれの部門で一丸となってタスキをつなぎ抜き、冬の鹿嶋路を全力で駆け抜けました。冷え込みの厳しい中でしたが、仲間の待つ中継所を目指して走りぬく姿は、本校の一体感を象徴する素晴らしい光景でした。沿道から温かい声援をいただいた皆様、ありがとうございました。



令和7年度学校評価の結果報告について

本校では、グランドデザインに基づき「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「小中一貫教育・地域連携」の4つの柱において、12の数値目標を掲げております。今年度の評価において、特筆すべきは「授業への主体的参加」や「ボランティア活動への積極的参加」が目標値を大きく上回ったことです。これは、本校がめざす「主体的に学び、社会に貢献できる生徒」へと生徒が成長している証であり、大変誇らしく感じております。一方で、「将来の夢や目標をもっている」や「年間30冊以上の読書習慣」については、課題が残る結果となりました。目標や読書習慣を育むためには、学校での指導に加え、ご家庭での何気ない会話や心の触れ合いが大きな支えとなります。お子さんとの将来に向けた語り合いや、ご家族で本に親しむ時間を大切にするなど、日常の場面で温かく見守っていただければ幸いです。今回の結果を真摯に受け止め、生徒が自身の可能性を広げ、豊かな感性を育むための支援をより一層強化してまいります。

【学校評価（一部抜粋）】

- 授業に主体的に取り組んでいる
目標 90% → 結果 94%
- ボランティア活動への積極的参加
目標 50% → 結果 69.4%
- 将来の夢や目標をもっている
目標 75% → 結果 69.1%
- 年間30冊以上の読書習慣
目標 50% → 結果 10%

*詳細については、本校ホームページをご覧ください。

「創意ある教育活動の実践を通した非認知能力の育成」

鹿島中学校では現在、授業でどのように非認知能力を高めることができるか、研修に取り組んでいます。

「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者と関わる力」の3つの非認知能力群の中から生徒が高めたい能力を意識し、振り返りを行っています。授業の中では「ギミック」と呼ばれる、生徒の心を揺さぶる仕掛けを組み込むことで、認知能力だけでなく、非認知能力も伸ばすことを目的としています。11月には2年生の英語科で、12月には1年生の社会科の授業を、全職員で参観し、研究協議を行いました。

鹿島秀群学園のキャッチフレーズ「なりたい自分になるために」を目指して、行事で、生活で、授業で、非認知能力を高めていけるように試行錯誤を続けてまいります。

